

平成31年度予算に対する各会派の意見

真政会

新年度予算は、「未来（あした）を切り拓く挑戦の年」を推進すべく、民活による子育て拠点施設の整備、駅西常備消防施設の整備、市サッカー場改修、道の駅駐車場拡張等、市民の安心安全、若い世代の定住促進や交流人口拡大を図った予算編成がなされており賛成である。

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

第2次総合計画における第1期基本計画の最終年度となる新年度予算には、当会派からの政策提案である「ヘルプカード」、「イングリッシュキャンプ」、「自治体アプリ」、「シティプロモーション課」等が導入され、効果の期待できる予算編成であり賛成する。

渡辺 松男 高橋 秀彰
佐藤 稔 霧見久美子

古河維新の会

先導的プロジェクトを行政事業レビューの対象とすること。また、シルバー人材センターが、本来の目的を達成できるよう行政支援をすること。さらに、消防団員のモチベーション向上や新入団員確保の点から、より丁寧な行政運営に努めることを強く意見する。

増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

市政同志会

新年度予算には、議会への請願や当会派も要望していた市サッカー場の改修が含まれており賛成である。古河市のさらなる飛躍のために古河駅東部地区の文化交流拠点にスポーツ・文化複合施設アリーナ構想の推進を望む。

渡邊 澄夫 小森谷英雄
佐藤 泉

政研・市民ベースの会

プロセスが明確でない事業があり、重要な取り組みは見られなかった。「市民と共に考え行動する」体制強化が最優先である。現体制でさらなる前進は難しく、組織上に副市長を1名追加する予算に賛成し、より強い組織づくりを望む。

生沼 繁 大島 信夫
秋山 政明 阿久津佳子
長浜 音一

会派に属さない議員

新年度予算では、新産業用地を開発推進する一方で、福祉予算の切り捨てや子育て支援サービスの民営化等が含まれ、反対である。

秋庭 繁

平成31年度の予算執行にあたっては、基本理念である市民本位を忘れず、また、古河市のさらなる成長のために取り組んでほしい。

落合 康之

一般会計に小中学校不審者等情報システム事業費38万5千円を計上しているが、虐待に対する専門のチーム編成は最優先課題である。

四本 博文

